

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社吉野メディカル	代表者	小牧 文夫	法人・事業所の特徴	・鹿児島市のほぼ中央に位置し、シティバスのルート上で史跡などが多く点在する地域に建てられている。住宅街の中にある複合型施設（コミュニティハウス上町）の2階に事業所が設けられ1階に認知症対応型デイサービス、3、4階に住宅型有料老人ホームがあり、それぞれに交流を持っている。
事業所名	多機能ホーム南洲の杜	管理者	宮崎 佳代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	1人	1人	1人	1人	4人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			質問が多岐にわたり、大変だったのでは？ 「かわりシート」について判断基準がわからない項目、質問があいまいな項目があった。	・改善計画は優先順位をつけて実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境			特に問題はない。 入り口に鍵があり、ちょっと顔を出してカードが必要。管理はできている。 B4の質問の意味が分からない。セキュリティ的な意味？←地域から閉ざさないという意味であることの話をしている。	
C. 事業所と地域のかかわり			運動会・文化祭など参加して頂いている。 文化祭も、作品作りを皆で行い出品している。 地域密着として良いのでは。	・継続して地域のイベントに積極的に参加し、交流を図る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			住んでいたところの人を巻き込んで支援を行うことが望まれる。 通いの方の利用者本人が住んでいる地域の方を交えた交流は課題である。元々あまり交流していなかった場合などはどうするのか？など。 小規模多機能ホームに見学者などが来ている。	・利用者様以外のご近所の心配な方など、共有できる内容などは運営推進会議などでも報告を行っていく。 ・近隣の地域資源の発掘に努め周知する。
E. 運営推進会議を活かした取組み			E2について。事例はあるが、報告を行っていなかった。今後行っていく。	・利用者様以外のご近所の心配な方など、共有できる内容などは運営推進会議などでも報告を行っていく。 ・介護職員が運営推進会議に参加する機会を作る。
F. 事業所の防災・災害対策			町内会長の協力にて初年度から町内会の方の参加がある。	・町内会総会へ代表者が出席し、施設の存在を知ってもらおうと共に引き続き防災訓練への参加の働きかけを行う。 ・災害対応についての勉強会を最低年1回は必ず行う。